

令和3年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業

(難治性疾患政策研究事業)

「先天性心疾患を主体とする小児期発症の心血管難治性疾患の救命率の向上と生涯にわたる QOL 改善のための総合的研究」

分担研究報告書

秋田県における小児期発症心血管疾患の診療についての現状報告

秋田大学大学院医学系研究科

医学専攻 機能展開医学系 小児科学講座

豊野 学朋

初めに、地域における活動について報告する。所属施設附属病院は県内唯一の先天性心疾患診療専門施設である。その責任者として、胎児期・新生児期・乳児期・小児期・成人期・高齢期の先天性心疾患患者の診療を行い、患者の救命率向上と QOL 向上に努めた。また、所属施設を代表し、日本小児循環器学会「小児心血管新規患者の全国調査」及び日本成人先天性心疾患学会「患者登録」に参加し、データベース構築の一助となった。成人先天性心疾患の修練目的で、施設内における移行医療が円滑に進むためのカンファレンス活動を循環器内科及び心臓血管外科と実施した。所属施設外では、秋田県医師会小児・学校保健部門

担当役員及び秋田市医師会循環器小委員会委員として活動し、学校心臓検診の判定及びシステム改善に尽力した。

続いて、国内における活動について報告する。日本小児循環器学会総務エリア副担当理事（2021年7月31日まで）として、ホームページを通じて患者の疾患に対する理解を含めるための情報提供を行い、思春期から成人期の患者の自立支援を図るための準備を行った。また、日本小児循環器学会 COVID-19 対策特別チーム副統括リーダーとして、先天性心疾患患者団体である「全国心臓病の子どもを守る会」と連携し、新型コロナウイルス対策のための患者及び患者家族への情報発信に努めた。